【用	紙一	1)		
	Ì		不具合整理No.	47F-06-006
		品質異常改善通知	1:重	産2-1
				市川
	Ι,	下記の製品は得意先検査の結果、不合格となりま		年06月16日
	ļ	再発防止の為対策を記入の上、指定回答日までに		
	۱_	発生原因 生産課:	2016年6月17日 迄 差	A CEX
╽ѫ	品質	指定回答日: 2016年06月21日 流出原因 生産課:	2016年6月17日 这 16,6,16 16.6.1	6. 16.6.6
具	保	カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ		/ <u>(E)</u>
不具合内容	証課	仕様番号 APB2910A-JAA-R3	写真·図	
容	記	品名 0.30P LGA CONTACT 对	8	8
	자	ロットN o 160608. 1K. 0026-0033. SSS. N	· AS AS AS	V
	l	対象数量		
		形状異常とリード部反り規格外		5.1
1	1		MARKAN TELEPHONE T. AND TELEPHONE TELEPHONE TO SALES	
	1	異常品の暫定処理 確認中	(外部のA) 1 学界の技術の大学、エカルには、デタイというでは100 alon OVED mm262.0 XAMI	ų.
-	├	発生原因	· 発生対策	
	生通		(継が 1)つまでに何を どうする)	
	(現場	島現物現実の確認・加工状況・加工履歴・変化点の確認)	・ハウについては、たいよのみユー	ティング
		•	一八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	ā , ,
	1		けほしいと技術に依頼、又、	
	(ナゼ発生したのかを3回繰り返して真の発生銃因を掴む)		T法公差在厂人对3. 株心依赖.	
			于流化在巴林从了	
		べりはかみを発		
ŀ	ハリはポンケ圏社 1 リート部列は、見た日では、わからない程度		をからうは (16. 1)の人は	
1			もらが発生したら修正しまり	
1		りた部分は見た日とは、かかり	0,60,71,102	_
1		のクリアランス容りからあった。		
			1	
起因部署記入	1		対策実施日: 16年 6 F20 B	2 担 当
	1		対策実施の7+Na ンス D y 上 1 (16 6,20)	7
	不異	·合□办生産日:/6年6月8日	水平展開の有・新 (有の場合、対象製品名叉は四番を記入)	0)
	金型	番号: P6319	() / **	中间
		流出原因	流出対策	<u> </u>
		在課 現場所は今の1955、原形、水ルルの1950)	(誰が、いつまでに何を、どうする)	
	(38.4	昌現物現実の確認・履歴・変化点の確認)	N增1 2 测定、	
	(ナゼ	が発生したのかを3回繰り返して真の流止原因を掴む)	•	
		パツ、反り共に気付いていた。		
		す法に入っていたのと思き品だとゆうことも	対策実施日: 16年 5月20日 承 認 確 記	2 担当
	l	11/2/2/01/2/00	対策実施の計画 二矢ワットエリ	0 12 3
	1	あり、生産した・	水平展開の有く層 りょうこう	
			(有の場合、対象製品名ス(部)番を記入) (6,6,6)	19 m
1	显描	質技術課	(誰が、いつまでに何を、どうする)	
		ま現物現実の確認・履歴・変化点の確認) ・変化点の確認・		v + 11
ı		形状異常(11-15部反)規格外	す法が入れていても (1つもと違う影体)	16210
	(++		上司。確認する。	
	1	が発生したのかを3回縁り返して真の流出原因を掴むと (でりかであるの(す気(ブレ(てし(だこ)		02 T 2
		(· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	す法かいかける時はう境がなるが	17400
		どちらともす法に実常がたいすこめのやと判断してる	対無実施日: 10年 7 月//日 承 题 確 話	双 担 当
	1	Ţ,	対策実施のよりは、一大日、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、	NA.
			水平展開の著・無 1 (有の場合、対象製品名又は図書を記入) 16,7,12 16,7,	12 16.7.1
L		<u> </u>	() / ** 智祖/ ()	
1	栗準教	類改訂 有・〔無。()	
品質保証課	顶足	因区分 □作業 □材料 □検査工程 □設備	□梱包·輸送 □管理·仕様 □顧客 □ 3	その他
		効果の確認 承認 確認	有効性の評価 承 認 確 諸	
	Fin	mino Function コテルケー (MERCUT) アンルの地上 大変を 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	07. 12. 1. S. 0001 . SSS. NV 16.07.4. S. Nos+50+(:50-2) 同开身合	
	X.7	則定はバリ側からの測定とし、飛近8分別 00 16,9,03 (16,9,03) (16,9,03) (16,9,03) (16,9,03) (16,9,03)	がまなりと判断なはる。 (18 3.05) (16 9	03 16.9.02
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	シに入れた事によりなに効果があります。	- 1376 W	
		(株) 鈴木	Rev : B SQ	M-22020-

.